

お陰様で全国幅広く、様々な作物でご愛用を頂き、地域のJA様や生産者様からも高い評価を頂けるようになりました。
農作物の生産性向上に寄与できる技術として、地域連携を図りながらより皆様にご活用頂けるように取り組んでおります。
皆様に有益な情報発信を続けて参ります！

東京都荒川区東日暮里1-32-6 CROSSビル
TEL 03-5615-1673
<http://yzwke.co.jp>
(製造工場)
埼玉県入間市新光191-1 物流センター内 D2
株式会社 ヤザワ環境エンジニアリング

地域活動

【JAふじ伊豆】

静岡県JAふじ伊豆伊豆の国莓委員会の講習会で、昨年度実施を頂いたナノバブル水を使用した試験報告をして頂きました。

「株の状態」、「いちごの収量」共に良い結果となり、委員会の皆様でのご利用が徐々に増えてきています。



今作の親株、苗の管理にもご使用を頂いており、生育が順調であると評価を頂いています。

特集記事として裏面にJA営農普及員の方より報告発表をして頂いた資料を掲載させて頂きました。是非ご覧ください。



【JA香川県】

JA香川県仲多度地区ミニトマト協栄部会様の懇親会にお招きを頂き、皆様のご意見をお聞きさせて頂きました。

夏取りの作付をされている生産者が多い地域のため、収穫がまだ途中とのこともあり、結果報告は12月頃の見込となっています。

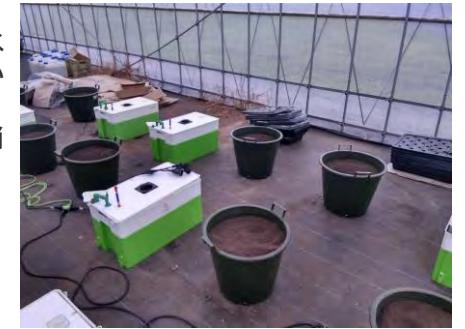


「例年のない猛暑でだったため、収穫量が大きく増えるかは難しい年になるかと思うが、今のところ順調に育っているのはナノバブルのお陰かもしれない。」と部長様からの言葉。
来年度には農業試験場での試験栽培も検討を頂いています。



【研究機関】

国の研究機関でナノバブル水を使用した試験調査を実施いただけることになりました。「肥料の吸収性」や「水分消費量」などの調査をして頂く予定となっています。今年度と来年度、2年間の実施を計画頂いています。



研究員の方からは「気候環境が大きく変化している昨今において、有益な結果が出ることを期待しています。」とお話を頂いています。

詳細は調査結果を頂いた上で皆様にもご報告をさせていただきます。



お知らせ

【レンタル、分割払いなどのプランを増やしました。】

ナノバブル水製造装置の「レンタル」や「分割払い」など、皆様に導入しやすいプランをご用意いたしました。
栽培規模や環境に応じてプランのご説明をさせていただきます。
ご興味のある方はお気軽にお問い合わせをお願いします。

※無償レンタルなどのご相談もお受けさせて頂いています。
台数や期間などに限りがあるため、当社までお尋ねください。
送料や設置費用は有料となります。

茨城県かすみがうら市 いちご農家様



レンタル（6ヶ月）から開始をして頂き、大きな装置を購入して頂きました。

神奈川県伊勢原市 パラ農家様



根活（K-20L）を10年間ご使用いただき、レンタルで装置導入を開始して頂きました。

【メンテナンス訪問を順次実施させて頂いています。】

製造装置をご購入頂いているお客様へのメンテナンス訪問を実施させて頂いています。
メンテナンスを定期的に行うことで、安心して末永くご使用頂けます。
順次ご訪問をさせて頂いていますが、お急ぎの方はご連絡を頂きますようお願い致します。
増設やサイズアップのご相談もお気軽にお問い合わせ下さい。

栃木県栃木市 T様



メンテナンス前

メンテナンス後

7年ご使用され、ポンプのメンテナンスが必要となりご依頼を頂きました。
「ほとんど新品だね！これからも大事に使わせてもらうよ！」

静岡県伊豆の国市 U様



新規増設装置

新規増設圃場

10年来ご愛用を頂いているお客様です。
新設圃場に3台目を導入いただきました！
「収量が落ちるのが怖いからこれからも使い続けるよ！」



病気に強くなる！
収穫量が増える！
品質が良くなる！



「特集」



成り疲れの回復が早い！
根の動きが良い！
肥料吸収が良い！

『JAふじ伊豆 伊豆の国市苺委員会ナノバブル水試験報告』

ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

韭山営農経済センター
令和5年8月9日

1. 現状の問題点・課題

・外的要因：夏季の猛暑の影響

- ① 育苗の根傷み症状や、病気株の発生
- ② 肥料吸収ができないことによる芯止まり株の発生
- ③ 苗の確保ができなかった生産者は、苗の追加購入による費用負担増

課題：生産コスト増による所得減少

2. 課題に対する取り組み

★根張りの促進

- ① 根傷み、病気の対策、肥料吸収能力の向上（芽無し株の低減）
- ② 定植初期の根張り促進でなり疲れ対策等に期待

★効果

- ① 定植苗の確保
- ② 生産量及び販売高の向上

根張りの良い苗の確保により生産コスト抑制により所得向上に繋げる！

ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

2. 課題に対する取り組み（つづき）

(2) 具体的な取組内容

項目	内容
試験実施生産者	2名
試験方法	育苗圃からナノバブル水を灌水、葉面散布、農薬散布時に使用
試験検証方法	① 根部の状態・根傷み病気の発生調査 ② 収量調査

(3) 試験実施生産者の詳細

・使用時期：R4年8月～ナノバブル水使用

生産者	栽培品種	育苗管理	本圃管理	作業	ナノバブル水使用方法
A	きらび香	雨よけ露地	高設	夜冷普通促成	葉面散布 薬剤散布 灌水 (本圃では毎日5分1回10倍希釈でチューブ灌水)
B	紅ほっぺ	雨よけ	土耕	夜冷普通促成	

ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

3. 試験結果（つづき）

(3) 本圃調査

① 本圃終了後の試験対象株



根張りの差はあまり感じられなかったが、試験区の芽数の多さ・草丈等について生育の良さを感じた

液肥など

ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

3. 試験結果（つづき）

(2) 収量調査

① A氏



② B氏



ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

3. 試験結果

(1) 9月15日時点の試験区・慣行区の太郎苗の様子



慣行区と比較し、試験区の方が根量や白根が若干多くみられる

ナノバブル水を利用した育苗圃及び本圃における試験結果について

4. 試験全体の考察

- ① 収量は、試験区・慣行区比較にて1.3~1.8倍差がある（圃場条件により変動あり）
- ② 3番以降の果実は、玉伸びし実も硬くロスが少なかった（生産者所感）
- ③ 収穫後の株は、根張りの差はあまり感じられなかったが、試験区の芽数の多さ・草丈等について生育の良さを感じた

5. 今後の方向性及び課題（まとめ）

ナノバブル水の利用で・・・

- ① 根張りがよくなり、炭疽病や根傷み等の抑制に繋がった
- ② 収量がよくなる
・試験区・慣行区比較 生産者A180%・生産者B135%

収量増加・生産コスト抑制により農家所得向上

試験後の評価

『根量が増えた！』

『収量が1.35~1.8倍多かった！』

『実が硬くロスが少ない！』

『芽数が多く、生育が良かった！』

『病気の被害が少ない！』



『委員会みんなで使っていきたい!!』

A氏（葉面散布）

【使い方】



「根張りが良く、病気の発生が抑えられた！
今年は灌水にも使用をしたい！」

B氏（養液灌水）

【使い方】



「芽数が多く、実も硬く、収量が増えて大満足！
今年も継続して使うよ！」